サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
86 冊（81 人）9/13 現在

（自分に自信と夢を～いまをだいじに、なかまとともに、一歩前進をめざして）校長　宮脇真一

校務の渡邊先生から、サクラソウの発芽の報告がありました。５月に落ちた種が、次のシーズンに向けて芽を出しました。

先週末の作業は大変お世話になりました。多くの皆さんの協力で、運動場周辺がすっきりとなりました。この夏の草はなかなかで、まだ運動場には草がかなり残っています。毎朝楢崎先生と高学年の有志で除草を続けています。

ここからスタート（2024/9/12 撮影）

「早ね・早起き」～リズムを～

教室をまわりながら、こどもたちの学びの姿を見ています。タブレットを駆使して調べ物をしたり、考えを発表したりする姿が、すっかり定着してきました。導入当初は、「とりあえず使おう」と言っていましたが、４年が過ぎた今ではすっかり「文房具」になっています。

そんな授業の中で気になることが一つ。午前中の授業の段階で、突っ伏しているこどもが時折見られます。視線に気付いて起きるこどももいれば、声をかけて起こすこともあります。

後期はじめから県内では「くまもと早ね早おきいきいきウィーク」の取組が行われており、本校でも学級毎に通信でお知らせしたところです。がんばりカードの提出は既に過ぎましたが、生活リズムを整え、授業に集中できる準備をすることはとても大切です。こどもたち一人一人の意識が高まるよう、家庭でも引き続きこどもたちの生活リズムを整える環境づくりをお願いします。昼間の時間に最大のパフォーマンスができる準備をすることが、学力向上の秘訣の一つです。

自学ノート　― 少し上向き ―

例年に比べ、少し低調なスタートでした（私の出張が多く、校長室にいる時間が短いのも、冊数が伸びない原因のようです）が、今週は毎日誰かが校長室にノートを届けに来てくれています。今年のテーマは「学びを使う」こと。覚えた漢字、できるようになった計算をいろいろな場面に「使う」ことを意識させていきたいですね。日々の授業も同じ。先生たちも、「学びを使う」ことを意識した授業を展開しています。